



# 学校だより

福島県立郡山支援学校  
令和4年7月20日  
令和4年度 第1号

## 社会とつながる「生活に生きる力」

子どもたち一人ひとりが、社会の一員として生きていくため、社会を豊かに生きていくため、社会とつながる「生活に生きる力」を育てていくことが大切であると考えています。

そこで、今年度は、学校が社会とビジョンを共有する「社会とともに」という視点、子どもたちが社会で実際に生きて働ける資質能力「社会で生きる力」を培うという視点、そして、社会の資源等を活用しながら教育を行う「社会との連携」という視点を踏まえ、学校経営・運営ビジョンを策定しました。

今年度も、学校だよりでは、学校経営・運営ビジョンに基づく、様々な取り組みを紹介していきます。また、学校のホームページにおいても、様々な子どもたちの活動の様子をお届けしていきます。そして、保護者の皆様や地域の皆様をはじめ、社会とのつながりを大切にしたい学校を作っていきたいと思っております。



校長 齊藤 恵子

### 学校教育目標

『一人一人のよさや可能性を広げ、「生活に生きる力」を育み、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。』

### 目指す子供の姿

主体的に生きる児童生徒

心豊かに生きる児童生徒

健やかに生きる児童生徒

学校経営・運営ビジョンに基づく、本校の取り組み状況をお知らせします。

### 主体的に生きる児童生徒

#### ・「ことば」を意識した授業づくり

本校では、教員の授業力向上を目指し、授業研究に取り組んでいます。研究テーマは『「3つの資質・能力の育成」を目指す学習の基盤となる「言語能力」の育成』で、今年度は2年目の取組となり、「ことば」を大切に授業づくりを行っています。さて、「ことば」とは何でしょうか。私たちは、本校の児童生徒にとっての「ことば」を、自分の思いを表現したり、コミュニケーションをとったりする全ての手段と捉えています。つまり、話し言葉や文字だけでなく、声、表情、身振り、視線、身体の動き、絵、写真など、全ての表出を「ことば」と捉えています。そのような「ことば」を使って児童生徒は自分の気持ちを伝えたり、受け取った情報について考えたりします。様々な表出方法での「ことば」を使うことが、児童生徒の学習やコミュニケーションの充実につながると考え、「ことば」の力を育むことを目指した授業づくりに取り組んでいます。児童生徒がそれぞれの「ことば」を使い、伝え、考え、伝え合えるような授業を今後も工夫し、学校生活がより充実するように取り組んでいきます。



### 心豊かに生きる児童生徒

#### ・児童生徒の「よさ」が生きる学級づくり

##### 小学部

子どもたち一人一人の考え方や感じ方の違いを大切に、その子の「よさ」をたくさん引き出せるようなかかわりを心がけています。  
自分らしさを大切にしながら、できることが増えるように、自信や喜びにつながるようになっています。



##### 中学部

生徒同士がお互いを認め合えるように、生徒のもつ「よさ」を発信していくこと、体験を通して「できた」と実感できるようにすることを日々心がけています。



##### 高等部

対話的な活動を通して「自分の思いを伝える」、「相手の思いや考えを知る」、「考えを整理する」等の力を身に付けられるようにしています。  
また、生徒たちが自ら発信する環境や雰囲気作りを大切にしています。



### 健やかに生きる児童生徒

#### ・児童生徒の「よさ」を明確にした個別の教育支援計画の作成と活用

個別の教育支援計画は、保護者懇談を活用し、保護者の皆様とともに作成しています。また、「切れ目ない支援」に生かすことができるよう、保護者の皆様へは支援ファイルに綴じて保管するとともに、関係機関等での活用を促しています。

児童生徒のよりよい生活のために  
(保護者懇談)

児童生徒についての  
次年度への引継ぎ  
(情報共有)



児童生徒に関わっている  
関係機関との連携  
(情報共有)

進路先への引継ぎ  
(移行支援会議)

#### ・「食事支援ガイド」を活用した安全な食指導

本校では、『食事支援ガイド』を活用し、「安全でおいしく楽しい食事」を目指しています。また、口の動きの段階に応じた4つの食形態の提供、食べやすい食具の使用、子供の立場に立った丁寧な食事介助を行っています。『食事支援ガイド』は、ホームページ上でも紹介しています。

##### 食具例



平スプーン シリコンスプーン カットアウトコップ

#### ・協働を意識した安心・安全な医療的ケアの実施

保護者より依頼を受け、教員が医療的ケアを実施する場合には、看護師と協働して安心・安全なケアを実施することができるよう、基礎的な内容から専門的な内容までの研修を受けます。実地研修では、看護師の指導のもと、手技を中心としながらも、ケアを行う際の配慮事項や子どもとコミュニケーションを図りながら実施することの大切さについても確認しています。



お知らせ

本校の取り組みをホームページに随時アップしています。ぜひご覧ください!!